

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康づくりの経費

食育事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 食を通して市民の健康の維持増進を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【事業の内容】

(1) 食育事業

- ・食育活動を推進するボランティアを育成するとともに、既に活動している団体と連携をはかりながら地域での食育を推進する講座の開催、イベントへの参加を行った。
- ・「食」に関する講演会等とおして、広く情報提供を行い市民への啓発を図った。
- ・市民、生産者・流通業者、関連団体等と多様な意見をかわし、引き続き全市的な食育の推進に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

食育事業計画の作成と実施(4-1-3-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,707	2,707	2,088		619

主な支出内訳

・食育事業

かまくら食育クラブ協力者等謝礼	300
かまくら食育カレッジ講師等謝礼	341
鎌倉食育推進会議委員謝礼	134
地域食育推進事業委託料	352
鎌倉食育推進計画リーフレット作成委託料(ダイジェスト版)	762



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 生産者・事業者との連携を取るための方向性や具体策を見出すことが課題。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・鎌倉食育推進計画を周知するため、ダイジェスト版(1万部)を作成した。 ・食育カレッジなどの講師を生産者・団体等に依頼した。 ・食育カレッジ等の講師を市内の生産者等に依頼したことで、事業者等との懇談会の開催方法等について、再考する必要があることが確認できた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 生産者・事業者との連携において、具体策が見出せなかった。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) かまくら食育クラブによる地域での活動の場を広げるとともに、生産者・事業者に対して食育推進計画を周知し理解を得る場を設け、食育を推進する事業を展開する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	食育推進計画における市の行動計画の目標達成に向け、引き続き食育事業を充実していく。				
担当課長氏名:		市民健康課長 相川 誉夫			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	生産者・事業者に対し再度食育推進計画を周知するとともに、生産者・事業者及び市民団体等と連携し食育推進の充実を図る。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		